

第6回「視覚障がい者対応講座」を実施

～ 職員50名が受講 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、2月17日（月）、職員を対象に第6回「視覚障がい者対応講座」を実施しました。

当金庫では、障がいのあるお客さまに安全で安心、そして円滑な取引を行っていただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、視覚障がい者に関する正しい知識を身に付け、ご本人をはじめ、ご家族や支援者の活動も併せてサポートし、地域社会に貢献することを目的に、平成27年から本講座を毎年実施しています。

当日は、大阪市社会福祉協議会と大阪市福祉教育語りの会から講師をお招きして、視覚障がい者への接し方や誘導方法のポイント等について、実演を交えてわかりやすい説明を受けました。続いて、当金庫事務部の職員による代筆の取り扱い、サインガイドの使用法の研修も実施しました。

今回の受講で得た知識を生かし、障がいのあるお客さまに寄り添い、少しでも安心してお取引いただける対応を実践し、お客さまの利便性の向上に努めてまいります。

記

1. 概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 実施日 | 令和2年2月17日（月） |
| (2) 会場 | 本店10階研修室 |
| (3) 受講者数 | 50名 |
| (4) 講師 | ・社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
畑野 千夏 氏
・大阪市福祉教育語りの会
鈴木 昭二 氏、山本 美恵子 氏
・当金庫 事務部 職員 |

2. 視覚障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の主な取り組み

- (1) 視覚障がい者の代筆・代読の実施とサインガイド(自署いただく箇所がわかる型枠)の設置
- (2) 視覚障がい者対応ATMを設置
- (3) 視覚障がい者用 音声による来店案内システムを導入（一部店舗）
- (4) 点字ブロックの敷設、点字による取引記録明細、満期案内の発行等
- (5) 窓口振込手数料の引き下げ（ATM扱いと同額）



講座の様子



講師をモデルに介助を体験する職員（左）

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

